

断熱施工技術者講習会

断熱建材協議会

断熱建材協議会とは

断熱・開口部材の健全な発展を目的に設立されました。8つの断熱材業界団体と3つの開口部材業界団体に構成されています



講習会の背景・意義

- 地球温暖化防止の観点から住宅の省エネルギーの重要性アップ⇒省エネ基準の適合義務化(2020年)
- 義務化には中小工務店・大工さんの正しい断熱施工技術の習得が必要
- 正しい断熱施工方法の普及により快適で健康的な住環境を提供する

施工マニュアルの内容

- 施工マニュアルは、木造住宅を正しく断熱施工するためのポイントをまとめたもの
- 充填断熱・外張断熱・併用工法を網羅
- さまざまな施工方法があるが、断熱建材協議会の推奨するリスクの低い工法を提案。



断熱建材協議会の標準施工法

講習会概要

- 受講者の希望日・希望場所に応じて少人数でも開催(日程調整はさせていただきます)
- 各断熱材業界の断熱施工の習熟者(断熱建材協議会認定講師:カード作成予定)による講習
- 講習会費用・・・無料(但し修了証の必要な方は千円/人)
- 受講者の採用断熱工法(充填断熱・外張断熱・併用断熱)にあわせ、特化した講習内容
- 講習会タイプは3種類、施工現場を使用した実践的な講習も受け付けます

講習会タイプ

①施工現場講習(1~1.5時間程度:最低5名程度以上で開催)

施工マニュアルに基づき施工現場で説明

可能なら実技も実施(カット・断熱施工など)

施工現場、実技用断熱材などは受講者が用意する

②座学講習(1~1.5時間程度:最低10名程度以上で開催)

施工マニュアルに基づき座学で説明

会議室など開催場所は受講者が用意する

③施工現場講習+座学講習

(2~3時間程度:最低10名程度以上で開催)

施工マニュアルに基づき座学・現場で説明

会議室、施工現場、実技用断熱材などは受講者が用意する

施工現場講習会場について

- 共通事項

座学＋施工現場講習の場合は、下記のタイミングに合わせ開催日を設定ください。また移動時間を考慮し、座学講習会場近くで施工現場をご用意ください。会場となる物件の持ち主の許可をとってください。現場の安全管理にご配慮ください。

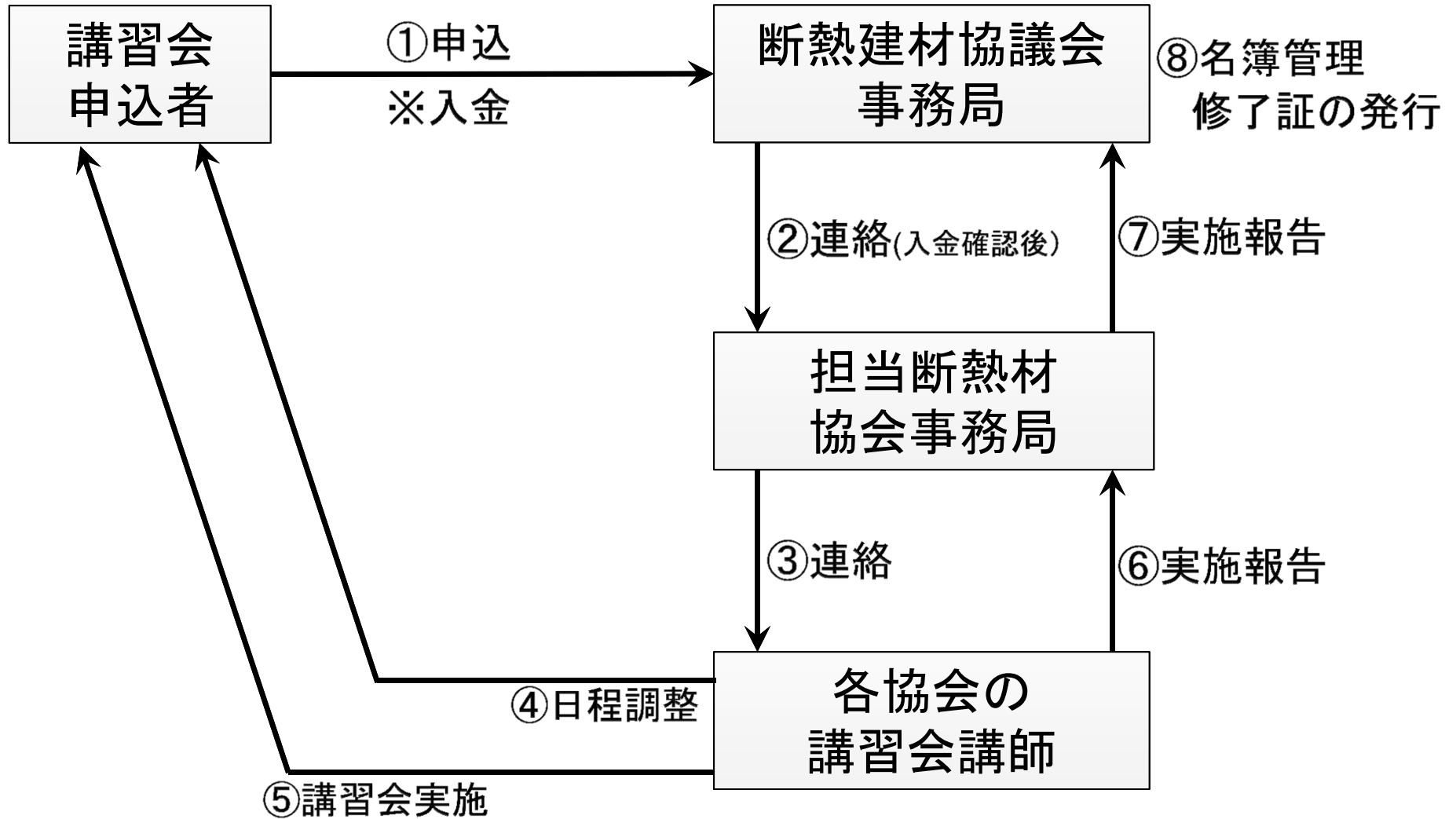
- 充填断熱工法

1階床の合板が張り終わり、壁断熱施工の途中の段階で開催することが目安です。筋かい部の断熱施工を行う場合がありますので、筋かいのある壁で断熱未施工部分があると良いです。

- 外張断熱工法

壁の外張断熱の途中の段階で開催することが講習会開催のタイミングの目安です。

講習会実務フロー



※修了証が必要な場合のみ

ご清聴ありがとうございました

断熱建材協議会

<http://dankenkyou.com/>